

2026 5.13 WED

13:00~17:00

しんらん交流館大谷ホール

見えない

ケア労働

と

ジェンダー

の負担

気づかれない

第25回 女性会議

Hello!

女性室

真宗大谷派(東本願寺)

一人に立つ ～ケア労働と私～

近年の女性会議では、「一人に立つ」のテーマをもとに、女性の一人としての尊厳について学んできました。昨年は京都大学白眉センター特定准教授の大谷由香先生をお招きして、「仏典にみる女性出家者の困難とその解消」の講題で講義をいただき、女性が出家修行者となるうえでの困難と、女性が出家修行者として活躍するために男性が果たした事例について、仏典をとおして学びました。

講義の中で大谷先生は、「他者のケアを担う立場にある女性を解放し、独占的にケアを受ける立場にある男性に自身のケアを担わせるのが「出家」。」と指摘されました。このことは、出家教団ではないものの、私たち真宗大谷派教団においても、寺院におけるケア労働の対等な分担が女性による宗門活動の活性化のために不可欠であることを示しています。

そこで今回は、社会学が専攻で、ジェンダーと再生産/ケア労働を研究されている、実践女子大学教授の山根純佳先生をお招きして、寺院・家庭におけるケア労働の分担について考えます。ケア労働という私たちの足元の課題を学ぶことをとおして、男女ともに一人としての尊厳を守ることに繋がりたいと思います。一緒に学び、語り合いませんか。



実践女子大学人間社会学部教授

山根 純佳 氏

社会学、ジェンダー研究、再生産労働・ケア労働論。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了（博士・社会学）。主著に『なぜ女性はケア労働をするのかー性別分業の再生産を超えて』（2010、勤草書房）『ケアする私のしんどいはどこからくるのか』（2025、平山亮と共著、勤草書房）、『岩波講座社会学』編集委員。

講師からのメッセージ

育児や介護といった
ケア労働の苦勞や負担は
なぜ理解されていないのでしょうか。
どのようにしたら女性が
ケア労働を多く担いがちな状況
を変えていけるのでしょうか。
みなさんと考えたいと思います。

講題

「見えない・気づかれない
ケア労働の負担とジェンダー」

check

- 参加費：無料
- 参加方法：対面 or オンライン(自宅・各教務所)
- 参加対象：宗派内僧侶・門徒
- 申込締切：2026年4月22日（水）

5.13 (水)

13:00 - 17:00

しんらん交流館大谷ホール

13:00	開会・趣旨説明
13:15	講義
14:05	休憩
14:20	講義
15:10	質疑応答
15:40	休憩・座談準備
15:50	座談 (オンラインは無し)
16:55	閉会・解散



※申込フォームを使用
できない方は、メール
でお問い合わせください

申込はこちらから

Hello!

女性室

真宗大谷派（東本願寺）

Mail kaiho@higashihonganji.or.jp
 TEL 075-371-9247
 住所 京都市下京区諏訪町通六条下る
 上柳町199